

公民館講座紹介

市民大学

「バランスのよい講座です」
市民大学は、講師の選定から運営まで市民により自主的に運営されています。最新の時事問題、自然科学、社会科学、医療健康問題、身近な地域の課題等幅広いテーマを選定し一流の講師をお招きしております。

また、受講者の交流の場として地域の場所を巡る社会見学会と「つどい」も行ってあります。8月に旧北国街道（荒町、与良町）の街並み巡りを行いました。

今年度は、公開講座として前文部科学省事務次官の前川喜平氏の講演会を行い、多くの一般の方にも参加していただきました。前川氏の講演で「生涯に渡って学ぶ力をつけることで、60歳になっても70歳、80歳になっても、学び続けて社会の変化の中でどのような社会を新しく作っていくか

考えられる人間になることが必要。そのためには学び続けることが必要だと思えます。学ぶ機会が大切だ。」とお話されました。市民大学はまさにこれにぴったりです。

市民が創る大学として、より良いテーマの講座と企画を工夫してお届けしたいと思えます。確かな情報で幅広い教養を培って、正しい判断力で生きる糧となるよう多くの方のご参加お待ちしております。

運営委員 天笠 省

女性学級

今年度の女性学級は、85名の受講生の参加を得て始まりました。歴史、自然、健康、芸術、家庭など多岐に亘り、講座名を見ただけでワクワクするような盛り沢山の内容です。

第一回は、市教育長の小林秀夫氏をお迎えして「小諸の歴史を学ぶ」と題し縄文、弥生、古墳時代から現代に至るまでのお話をいただきました。市内には多数の遺跡や出土品があると伺い、ちよつと出掛けてみたくになりました。



旧北国街道 街並み巡り



白駒の池巡り



小林初枝先生と「秋の歌を歌おう」



海野和男先生と共に「小諸の自然」



樋野興夫先生と「がん哲学外来から」

はちみつの原料のアカシアは木村熊二先生が海外から取り寄せたのが始まりだったそうです。

自然観察では、バスを利用して白駒池へ苔の観察に出掛けてきました。苔ガイドさんから500種類ある苔の名前は、姿や形だけでなく何の上に見えるのかも名前を覚える時のコツだと教えていただきました。

7月には、順天堂大学の樋野興夫氏に「ガン哲学外来」

のお話をいただきました。ガン哲学外来を日本で立ち上げられた第一人者の方です。「天寿を全うしてガンで死ぬ」にはどう覚悟し日々の生活を過ごすことが大事か心構えを伺いました。

恒例の「公民館まつり」への参加も含め18講座が5月から翌年1月まで予定され、幅広い年齢層の参加者が、いきいきとさわやかな生活実現をめざし楽しく活動しています。

学級会長 竹内 千恵